

# 2009年若手の会サマースクール

## ～オレオサイエンスのパラダイムシフト:モダンオレオのア・ラ・カルト～

日本油化学会若手の会は、幅広い交流を目的とした若手研究者の集まりで、毎夏、産学官において最先端の研究やユニークな研究を行っている研究者・技術者を招いて「サマースクール」を開催しています。今年のキーワードは「**オレオサイエンスのパラダイムシフト:モダンオレオのア・ラ・カルト**」です。気軽な雰囲気の中、講師の先生方と、また若手研究者・技術者同士のコミュニケーションがはかれるサマースクールです。油化学の勉強の場として、また人脈形成の機会としてサマースクールをご活用ください。多数の方の軽装でのご参加をお待ちしております。

**主催** (社)日本油化学会若手の会

**協賛** (社)日本化学会

**日時** 2009年7月30日(木)午後～31日(金)午前

**会場** あいち健康プラザ

(〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1-1 TEL 0562-82-0211)

[交通] JR 大府駅西口より知多バスにて12分

### ■スケジュール

#### 1日目 7月30日(木)午後

12:30～13:00 参加登録

13:00～13:10 開会挨拶

- ・ 13:10～14:00 『**多鎖多親水基型の次世代界面活性剤—物性と会合挙動—**』

(奈良女子大院人間文化) 吉村倫一先生

高性能ならびに高機能性を有する次世代界面活性剤の開発を目指して、分子内に複数の疎水鎖と親水基をもつジェミニ型界面活性剤や超長鎖界面活性剤の分子設計を行い、そのユニークな物性と水溶液中での会合挙動について講演する。

- ・ 14:10～15:00 『**美と健康のための商品開発への取り組みかた — どうつくり、いかに伝えるか —**』

((株)エフシージー総合研究所(フジテレビ商品研究所)暮らしの科学部) 菅沼 薫先生

消費者に求められる商品を、どうつくり、いかに伝えたらいいか、当社で実施している化粧品の機能や特性評価、食品、商品の各種試験の経験を基に、商品開発の取り組みかたについて述べる。研究者として何に気をつけたらよいか、この講演が考えるヒントになれば有難い。

- ・ 15:10～16:00 一般発表 (2～3件)

募集中です。本会告をご覧ください。

・ 16:10～17:00 『@cosmeからみる消費者動向』

(株)アイスタイル代表取締役 兼 @cosme 主宰) 山田メコミ先生

化粧品クチコミサイト「@cosme」から消費者動向と化粧品市場の販売動向との  
相関関係を読み解き、アイテム別最新クチコミランキングと注目の人気アイテムをご紹  
介しながら今後のトレンドの考察を行います。

18:00～20:00 懇親会

**2日目 7月31日(金)午前**

7:30～8:30 朝食

・ 9:00～9:50 『高バイオマス量サトウキビを用いた砂糖・エタノールの複合生産プロセスの開発』

(アサヒビール(株)豊かさ創造研究所) 石田哲也先生

食糧競合せず、経済性を満たすバイオエタノール製造プロセスとして、アサヒビール  
株と(独)九州沖縄農業研究センターが共同で進めている沖縄県伊江島での取り組みにつ  
いて紹介する。

・ 10:00～10:50 『廃食料油のリサイクル技術開発の現状と実用化のための課題』

(シダックス(株)) 藪下義文先生

食品関連事業者が調理工程から発生する廃食料油及び食べ残しの資源循環の輪を構  
築し、バイオマス資源の有効利用を促進するためのシステム開発を目指す。5年間に亘  
って NEDO 技術開発機構と共同研究を行ったのでその成果と課題を説明する。BDFの  
性状、脱遊離脂肪酸工程の効果、システムの安定運転のためのリユージョン、実用化した場  
合の経済性等を報告する。

・ 11:00～11:50 『油脂の物理化学的機能性』

(広島大院生物圏科学) 佐藤清隆先生

油脂は、エマルションやオルガノゲルなどのコロイド分散系の機能的な物性を発現さ  
せる上で重要な役割を果たしている。本講演では、結晶性油脂の物性に関する最近の研  
究例を紹介する。

12:00～12:30 閉会挨拶, 記念撮影

**参加費** (宿泊, 懇親会, 朝食費を含みます。各日の昼食費は含みません。)

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| ・ 日本油化学会普通会員・法人会員, 学校官公庁勤務者 | 23,000 円 |
| ・ 協賛学会個人会員・法人会員             | 23,000 円 |
| ・ 学 生                       | 10,000 円 |
| ・ 一 般                       | 32,000 円 |

\*懇親会の後も引き続きミキサーを行いますので、基本的に参加者全員に宿泊をお願いしておりますが、ご自宅  
が会場の近くで宿泊されない方<sup>a)</sup>, および一日だけの参加希望の方<sup>b)</sup>も併せて募集しております。詳細は下記参  
加申込先までお問い合わせ下さい。

a) 宿泊されない場合	
・ 油化学会普通会員・法人会員, 学校官公庁勤務者	18,000 円
・ 協賛学会個人・法人会員	18,000 円
・ 学生	5,000 円
・ 一般	27,000 円
b) 1日のみの参加の場合	
・ 油化学会普通会員・法人会員, 学校官公庁勤務者	10,000 円
・ 協賛学会個人・法人会員	10,000 円
・ 学生	2,500 円
・ 一般	15,000 円

**募集人数** 80名 (定員になり次第、参加申込を締め切らせて頂きます。お早めにお申し込み下さい。)

**参加申込締切** 7月24日(金)

**参加申込先** 大阪工業大学工学部応用化学科 村岡 雅弘  
 TEL: 06-6954-4273(直通), FAX: 06-6957-2135(学科事務室),  
 E-mail: muraoka@chem.oit.ac.jp

**参加申込方法** 申込書に必要事項をご記入の上 FAX で、または同内容を明記の上 E-mail でお申し込み下さい。

**参加費支払方法** 参加費は7月27日(月)までに下記の銀行口座にお振込下さい。なお、振込手数料は参加される方のご負担とさせていただきます。

三菱東京 UFJ 銀行 江坂駅前支店

口座番号：普通 0041784 名義：日本油化学会 若手の会 代表 村岡 雅弘

----- きりとり線 -----

2009年 若手の会サマースクール参加申込書			
氏名 (ふりがな)		年齢	性別
		歳	男・女
所属			
連絡先	TEL		
	FAX		
	E-mail		
資格 (該当するものに○)	油化学会普通会員・法人会員勤務者・学校官公庁勤務者・ 協賛学会個人会員・法人会員 23,000 円 学生 10,000 円 非会員 32,000 円 その他 (宿泊無し・1日のみ) の参加 ( ) 円 (宿泊無し 油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会員 18,000 円, 学生 5,000 円, 非会員 27,000 円) (1日のみ 油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会 10,000 円, 学生 2,500 円, 非会員 15,000 円)		

## 2009年若手の会サマースクール一般発表募集

油化学若手の会サマースクールでは、2005年度より一般発表の部を設けました。最新の研究成果だけでなく、各企業の得意な技術や新商品をどしどしご紹介ください。また、学生さんによる研究室紹介も大歓迎です。発表時間は15分程度（質疑応答を含む）です。

### 発表申込

発表を希望される方は下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAX または同内容のE-mailにて下記までお申し込み下さい。

発表申込締切 7月17日(金)

### 発表要旨

A4用紙1枚に、(1)発表題目(2)所属と発表者名(3)研究内容あるいは研究室紹介の内容をご記入いただき（スタイルは自由）、電子メールの添付ファイル(PDFまたはWord形式)にて下記までお送り下さい（FAX不可）。

発表要旨提出締切 7月22日(水)

### 発表申込および発表要旨提出先

大阪工業大学工学部応用化学科 村岡 雅弘

TEL: 06-6954-4273(直通), FAX: 06-6957-2135(学科事務室),

E-mail: muraoka@chem.oit.ac.jp

-----きりとり線-----

若手の会サマースクール一般発表申込書	
発表題目	
所属と発表者氏名 (講演者に○印, ふりがな明記)	
申込者氏名	
申込者連絡先	〒 TEL E-mail FAX